

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 4,594 人で、前年の 4,887 人から 293 人減少し、出生率（人口千対）は 6.9 で、前年の 7.3 を下回った（全国第 20 位）。

合計特殊出生率は 1.68 で、前年の 1.74 を下回り、全国第 3 位（昨年 は 2 位）であった。第 1 位は沖縄県（1.82）、第 2 位は宮崎県（1.73）、第 3 位は島根県（1.68）、第 4 位は長崎県（1.66）、第 5 位は佐賀県（1.64）である。

(2) 死亡数は減少

死亡数は 9,710 人で、前年の 9,724 人から 14 人減少した。死亡率（人口千対）は 14.6 で、前年の 14.5 を上回った（全国第 5 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 25.5%、14.2%、10.1%である。本県では平成 7 年以降、死亡者のおよそ 3 割の死因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△5,116 人で、前年の△4,837 人から減少数が 279 人増加し、自然増減率（人口千対）は△7.7 で、前年の△7.2 より減少率が 0.5 増加した（全国第 39 位）。本県は平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は 98 胎で前年の 99 胎より 1 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 20.9 で、前年の 19.9 を上回った。死産率のうち、自然死産率は 11.5（前年は 10.2）、人工死産率は 9.4（前年は 9.6）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,625 組で、前年の 2,672 組から 47 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.9 で、前年の 4.0 を下回った（全国第 42 位）。

平均初婚年齢は夫 30.3 歳、妻 29.0 歳で、夫は前年より 0.3 歳低下、

妻は前年より 0.1 歳低下した（全国平均は夫 31.2 歳、妻 29.6 歳で、夫は前年より 0.1 歳上昇、妻は前年より 0.2 歳上昇した）。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は 945 組で、前年の 901 組から 44 組増加し、離婚率は（人口千対）1.42 で前年の 1.34 を上回った（全国第 42 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	令和元年	平成30年	対前年増減	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年
出生	4,594	4,887	△ 293	6.9	7.3	1時間54分24秒	1時間47分33秒
死亡	9,710	9,724	△ 14	14.6	14.5	54分7秒	54分3秒
乳児死亡	10	9	1	2.2	1.8	36日12時間	40日13時間20分
新生児死亡	4	4	0	0.9	0.8	91日6時間	91日6時間
自然増減	△ 5,116	△ 4,837	△ 279	△ 7.7	△ 7.2
死産	98	99	△ 1	20.9	19.9	3日17時間23分15秒	3日16時間29分5秒
自然死産	54	51	3	11.5	10.2	6日18時間13分20秒	7日3時間45分52秒
人工死産	44	48	△ 4	9.4	9.6	8日7時間5分27秒	7日14時間30分
周産期死亡	17	18	△ 1	3.7	3.7	21日11時間17分38秒	20日6時間40分
妊娠22週以後の死産	14	15	△ 1	3.0	3.1	26日1時間42分51秒	24日8時間
早期新生児死亡	3	3	0	0.7	0.6	121日16時間	121日16時間
婚姻	2,625	2,672	△ 47	3.9	4.0	3時間20分13秒	3時間16分42秒
離婚	945	901	44	1.42	1.34	9時間16分11秒	9時間43分21秒

	令和元年	平成30年
合計特殊出生率*	1.68	1.74

*分母に用いた人口
5歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。